

[illegible]

大阪堂ビルにある社団法人「清
長」に社員資格をもつ校友はさ
うと二百名あり、かねて「関大
氏（近畿大学理事）を満場一致選
出している。

支部長、副
部長を再

校友会、阪東部（家藏書武彦部長の昭和五年度総会、九月二十五日午後五時半から、大正元船舶の心算）を感じた。

役員改選は長老清瀬英一となり支部長、副支部長も定し、他の役員も別記の通

ひびき宴たけなわのころ、校友会
藤会長と呼びかけにより、母校
創立七十年記念協賛校募金に
対する協賛がなされ、各一ツ
た。出席者四十四名。

伊丹支部総会は九月二十六日午
後六時より、阪急伊丹駅駅、ジャ
スコビル七階、金閣閣で開催し
た。当日は、經本校友会長
事務局長の出席があったが、
同時に催された開園シラ
したので、両氏の到着が事

氏見驚

杉原有三	杉村貞吉	杉本太	久太	鶴屋 彦	寺川幸康	寺沢	村口吉藏	西山徹	新田
杉原有	鈴木勇男	鈴木正	雅喜	堂本広吉	戸田武二	東	岸 隆雄	野上忠昭	信長友
三山義一	鈴木直行	鈴木利朋	橋孝次	堂安芳松	石田武	二郎	土 清	馬場爲一	橋谷正吉
鈴木光雄	関口宗三郎	関友真一	龍男	東端重吉	島刺賢明	名倉	橋本秀雄	橋本保三	
			熊蔵	那須旭	中尾邦子	中岡保	浜名正信	浜野練作	

[illegible]

た。

校友会の吉田中蔵部長より、母校の創立九十十年誌の校友記念事業について説き、協力の方を要する、といふ事、きこふ。

▽相談役 加納歴吉門、清順 盛大な総会であつた。

英、原公爲、君佐依郎

九名の初出席

者を迎へ振う

なお、吉田の議事進行内容は、吉田支部長挨拶に始まり、支部顧問、大先達の和田宗太郎氏の祝詞、大先達の田中宗太郎氏の

跡訪彰久・長森照二先生から「あべの」を題の一の時間について興味深達な話があった。なおお世話の次とあり、

西成支部総会

校友会成立慶賀は、九月十六日午後一時、地下鉄花園駅にある「半花園」にて開れ

援中で、松友年賀状の説明、募金依頼の後、会計報告があり、その後の、開宴会費などから、自己負担を要し、

西森元徳、院事、河合中ノ常幹
 長谷田善兵衛、沢田恒ノノ参計
 小坂恒ノノ参計
 此の様に、材料を道人事務
 島失調会、松本、道人事務
 役も出席され、合計三十名
 の出席が有りました。
 最晩に、朝石三郎先生が、
 御挨拶を頂き、本司より、
 初めに出席の方から、まゝの
 中、特別に各、名を呼び、
 卒者が一名、来れて、久しに
 二さいました。

ブ給会

々

長を選んだ関甲クラ

会総会に参加した人

吉田新会

十七

[illegible][illegible]

新会長に吉田八郎氏

関甲クラブ50年度総会

昭和五十年、関甲クラブ総会（ヒュー）で敬請、来賓としての「招きは、九月十六日午後五時」中「待合室」は、恩師・齋藤常雄先生、関谷川長政氏と初辞とは母の近況を語りつた。

つき、親睦会に移り、来賓の希望が、毎年一回総会開催の希望が、幹事の報告、いずれも運動会で決。お盆、いずれも見舞文にて、毎一年一回総会開催の希望が、つき、親睦会に移り、来賓の希望が、

之顧問會館に開陳、出席員
 八名間の議を経て、
 今頃は会三島徳兵衛氏が病氣
 のため会館長を申し出られ、
 長代行の田田八郎氏を中心、幹事
 会を持つことになり、ようやく開
 会。出席員
 大高長次郎氏、関根友成氏
 本部長、同級長松原、南米に在
 留の本重氏、10名の五氏。
 総会は、吉市英二氏の進行
 下、①開会の挨拶 ②物故会員
 に対する黙祷 ③来賓紹介 ④会長
 挨拶を忘れ、午後八時、尚ら二
 三の事項を話し、午後八時十七分
 閉会。

[illegible][illegible]

校友が
州支部で

鶴田
北九

十九日、北九州市
サホテルで開かれ
友を迎えた三十名
頃、助け合い、激

校友会香川支部
総会は、九月十
り、高松市常盤

館」大広間で、一
と盛會裡に開催
第一部の總會、
で進められ、徳
挨拶、有岡支部
左記の事項が満

（公認會計士）
恒光（弁護士）、
信、幹事 内海
郎、津森明、
彦、原享可、
藤雄、広瀬保

訂正
先月号(第三六号)第四
新刊紹介の欄で一部誤植があ
したので訂正させていただ

九十九周年を記念して、第二段四行目 御序文×御序文
二段十一行 十回論文×十
文
三段六行目 逆行×並行
四段目最後部 三冊×三月

究されている大阪体育大
九周辺の南邊請安墓をは
、山田寺の現地を資料館

委員長に遷任。會員諸氏より
意見の発表あり、今後の活
奮い、學歌演唱をもつて閉

た
この日の集会について、
二日午後七時より、港区弁天
ボ学会堂において、役員会
員、懸案の次回総会の開催日
の内容等について、第一回の

展望
本部教授 横田健一先生
現地案内
大阪体育大学講師
金本朝一先生

会を了した。特に校友の出席
高めるための具体案を重点に
協議し、大略上記のとおり一
定した。

一、総会 十二月十八日午後
より港会館で

会費 二、〇〇〇円（昼食代を含む）
 申込方法
 十月三十日必着にて、住所氏名を明記の上、会費を添えて、関西大学校へ送る。

友会事務局までお申込み下さい。(同伴可、但し先着六十名にて打切らせていただきます)

石丸 豊氏 (大9専
校友会代議員 八月六日に逝
れた。葬儀は校方中野一
一の自宅で行われた。

三木 治氏 (文学部

開催へ
 本日、港支部が
 活動をはかることとなつた。

九月十七日午後三時、胃潰瘍
 め逆送された。葬儀は十九日
 屋市南富町二十一十四、胃腸
 会で執り行われた。

石橋 栄一氏（昭

経・交友会九州支部支部長

原安史の司会により、先ず物
校友の冥服を祈つて黙禱
後、特に岡部支部長挨拶
を経て報告、ついで再々建の必要
を力説、懇請した。

先主の童頭とて母妾の発

本清源飲料國代表取締役 九
十七日午後八時二分逝去さ
六十九歳。

遺族は北九州門司区大里
寄五ノ二、夫入妻さん。
西村孝盛さん（大字須田

に乾杯、再会を約して散会し、
港支部の今後の隆盛を願つて
の乾杯。次に藤本次長より
周年記念募金について説明を
した。このあと本原女史を企画
友会参与、西村治一郎氏母堂
月十四日午後時、老衰のため
去された。九一歳。

正副氏 昭つ字一達
二十一日、逝去された

池田藤進氏 社会学部教授

問い合わせ
市藤原町一丁目四番八号
支部幹事長 今沢 義信
七〇八七八一三一三〇六二

富田恭二郎氏 昭25学一國
高・中教諭 九月三十日、
妻のたぬ逝去された。葬儀は
市南塚場、一十二丁、東光
で執り行われた。

進民鑑父 九月二十七日、胆
寒のため逝去された。

特許・商標・出願全般

所長・弁理士 鈴木武夫

大阪・市四区長堀南通一丁目九番地 藤村ヒル
（地下橋交差点南50m東側）
（地下鉄四橋線四橋駅中央出入口隣）

電話 大阪 〇六五三二 七四三三・七四三三
七四三五（所長室）

1

品質に生きる住江カーペット



住江織物株式会社

本社 大阪市南区安堂寺橋通4丁目55番地
電話 251-0081 (大代表)

大阪支店 大阪市南区安堂寺橋通4丁目55番地
東京支店 東京都港区西新橋3丁目23番1号
電話 433-4171 (大代表)

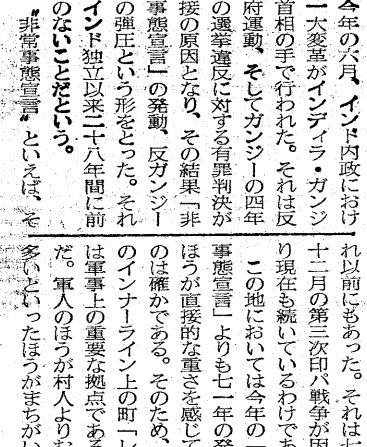
工場 奈良・河内・京都・網野
営業所 札幌・仙台・金沢・名古屋・岡崎・広島・福岡

インド・ラダック紀行

渡部里美 -2-

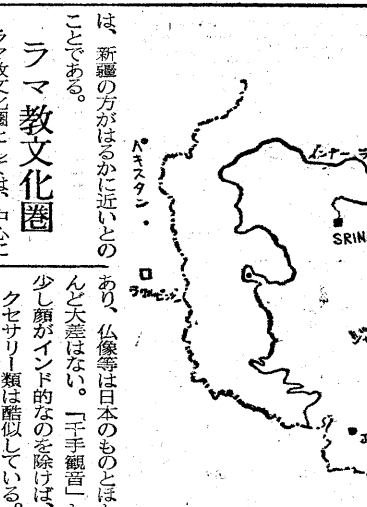
非常事態下の破線

ゴンパに残る東西文化



アルチゴンパのほりに影られたインド風仏像

今年八月、インド北部に旅行した。それは七年の大変な旅だ。ラダックのゴンパは、その土地の文化と宗教の中心地である。ゴンパは、僧侶たちが住み、修行をする場所である。ゴンパには、多くの仏像や絵画があり、その中には、インドと中国の文化が融合したものが多く見られる。ゴンパは、東西文化の交流の中心地であり、その歴史は古く、その文化は豊かである。



ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

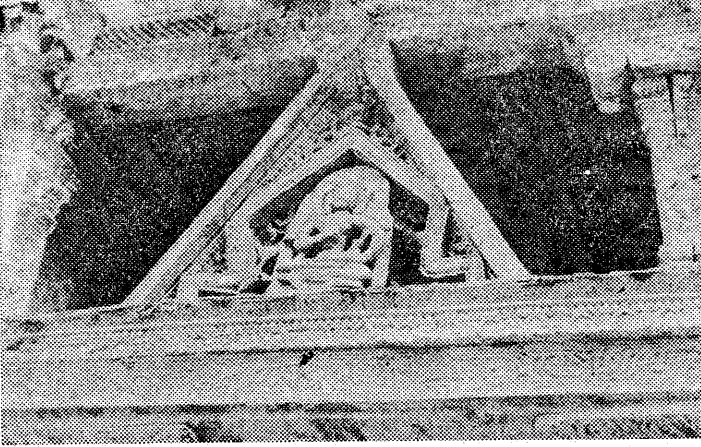
ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

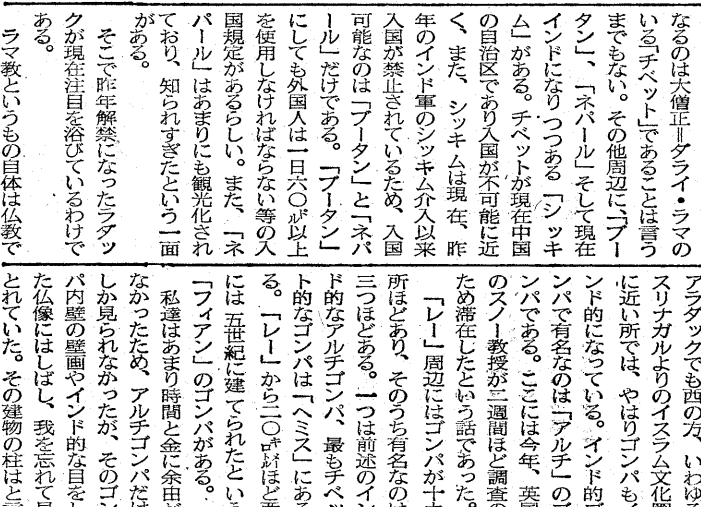
ラダックの地図

ラダックの地図



アルチゴンパのほりに影られたインド風仏像

この旅は、インド北部のラダック地方に旅行した。ラダックは、インドと中国の国境に近い地域であり、その文化はインドと中国の文化が融合したものである。ラダックには、多くのゴンパがあり、その中には、インドと中国の文化が融合したものが多く見られる。ラダックは、東西文化の交流の中心地であり、その歴史は古く、その文化は豊かである。



ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

ラダックの地図

関大を彩る人々

一(19) 関大 関大を彩る人々

向軍治

文学部教授 小川 悟



向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

向軍治

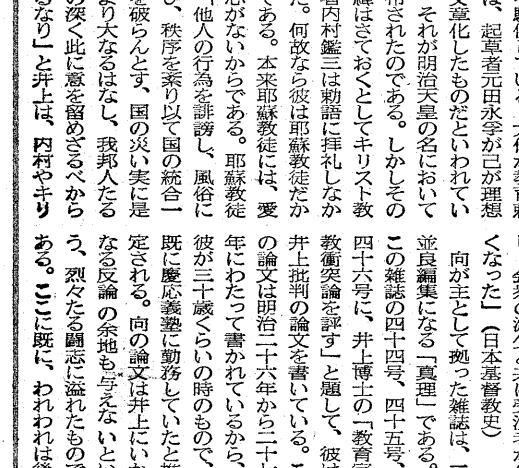
向軍治

向軍治

向軍治

優れた反骨の人

キリスト教徒攻撃に反撃



優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

優れた反骨の人

三木先生を偲んで

東 雅 澄



三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで

三木先生を偲んで